

令和7年度
学校だより

第3号

ふぞくの風

鹿児島大学教育学部附属小学校



令和7年6月25日 発行

読書旬間に寄せて～人生を彩ってきた本との出会い～

校長 橋元 忠史

隙間時間の読書が好きだ。というか本に触れているのが好きだ。だから寝室はもちろん、トイレにもお風呂にも本を持ち込む。そして、家中至る所に本を置いているので整理整頓に敏感な家族にはとても迷惑がられ、すぐに片付けられる。思えば、全く本など無縁な少年時代だった。家に帰るとランドセルを3m放って1km先の公園まで駆けていき、友達と日が暮れるまで草野球をしていた。学校では誰よりも早く給食を食べ終わって校庭にドッチボールコートを確認する役割に命をかけていた。本なんか読んでいられないという感じで。そんな頃、読書感想文を書かないといけなくなり仕方なく選んだ本が『十五少年漂流記』だった。冒険の世界に夢中になった。昼休みに恐る恐る「図書室」なる部屋に行ってみた。するとそこには、いつも教室では大人しく目立たないクラスの女子が一人、本を読んでいた。少し微笑みながら本に目を通すその横顔に吸い寄せられ、そっと本の題名をのぞき見た。『ルパン対ホームズ』。それからその子に近づきたい一心で探偵物を読み漁った。面白い。本って意外と・・・。



高校時代は部活の合間にクラシックの交響曲がどんな背景で創られているのかをその作曲家の人生と重ね合わせて解説しているシリーズに心奪われ、次から次に手に取った。いやあ、怖いほどドラマチック。鬼気迫る思いで作曲していることを知って、全くの音楽音痴の自分だが、それから一時期、色々な交響曲を聴きまくった。初めて「人生」の奥深さに触れた気がした。一方でその頃はコミックの世界にもはまった。退屈な授業では教科書で隠しながら『湘南爆走族』『ビーバップハイスクール』『男一匹ガキ大将』を広げて読んでその世界観にどっぷりはまった。

そんなこんなで時は流れ、子どもが生まれる歳になった。私も時々、読み聞かせをしたが、一番読み手として気に入ったのは『おいしいのぼうけん』だ。これは小さい頃、自分も母から読み聞かせしてもらい、怖いやらドキドキするやら一番印象に残っていた絵本。教師になってからも、担任する子どもたちには毎年のように読み聞かせをした。まるで押し入れに迷い込んだように臨場感あふれる読みにこだわった。子どもたちの食い入るような表情が小さい時の自分と重なって見えた。だから『おいしいのぼうけん』は50年近く前のボロボロのも合わせて4冊は持っている。

振り返ると人との出会いと同様に本との出会いも「偶然の必然」であり、ドラマチックである。人との出会いが損得感情で言い表せないように、本も学べるかどうかだけで選ぶのでは味気ない。6月は前期の読書旬間だった。子どもたちも人生を振り返る歳になった時に、ふと思い返してキュンとなるような本と一冊でもいいので出会ってほしいと思う。

また、保護者の皆さんの人生においても、私以上に様々な「読書ストーリー」があるのではと思う。ぜひ、子どもたちに語って聞かせて欲しい。そしてしばし、スマホをしまい、親子でそっと本に手を伸ばしてみるのはどうだろう。

～周りの「こと・もの・ひと」を大切にしよう～

今年度の附属小学校PTAテーマは、「周りの『こと・もの・ひと』を大切にしよう」です。子どもたちが、身の周りの「こと・もの・ひと」との豊かな関わりを通して、影響を与えられたり、支えられたりしながら成長できるように学校と家庭で連携していきたいと考えています。

● 思いやりの心を育てる人権教室

附属小学校では、毎年、「自分や周りの人の人権を尊重しよう」といった人権に対する意識を高め、よりよい自分の姿を見いだすことができるようにすることをねらいとして、人権教室を開催しています。6月13日に実施された人権教室では、講師として人権擁護委員を招聘し、人権に係る動画視聴や講師のお話を通して、子どもたちは、人間らしく、自分らしく生きることの大切さについて考えたり、それらを尊重することのよさを実感したりしていました。



【人権について考える子どもの様子】

下は、子どもの感想です。

自分にとって、楽しいことややりたいことをいつもしていたけど、たまには「〇〇って言ったら、周りの人が、どう思うかな。」と、周りのことも考えてみようと思った。【2年男児】

仲良しの友達がいつも周りにいてくれた方が安心するけど、私が友達をいつも自分の方に集めようとしてしまうと、誰かが悲しんでしまったりすることがあるかもしれないと気付いた。これからの友達との関わり方を考えていきたい。【4年女児】

スマートフォンでの友達とのやりとりでも、人を不安にさせたり、悲しませたりしてしまうことが分かった。自分では何も気にせずに文字の打ち込みや返信しなかったことが、相手を不安にさせることもあるので、相手がどう思うかを考えながら、スマートフォンを使っていきたい。【6年女児】

人権教室で学んだことを、子どもたちが日常の様々な場面において生かしていくことができるようにするために、見守りや声掛けを継続していきたいと考えます。

● 日曜参観及び引渡訓練へのご協力ありがとうございました

6月15日に開催された日曜参観においては、ご参加いただきましたありがとうございます。当日は、授業の様子をご覧いただくだけでなく、PTCC 話し合い活動や引渡訓練など、保護者の方が参加されることで、より教育効果を高める活動を展開することができました。特に、引渡訓練で実施した保護者への引渡については、実際に実施する事態が生じないことが最も望ましいのですが、自然災害等の不測の事態が生じた際に、子どもたちを確実に保護者へ引き渡すことができるように備えていきたいと考えます。



【引渡訓練の様子】

実施した引渡方法につきましては、今回は参加されなかった引渡の当事者となりえるご家族やご親戚の皆様とも、情報共有して頂けますとありがたいです。

【7月の主な行事】

2日(水)	マイプロ Day (1・2年生休み)	22日(火)	教育相談(～28日)
	学校保健委員会		図書館開放(～30日)
11日(金)	夏季休業前図書特別貸出(～15日)		【9:00～11:00, 13:30～15:00】
18日(金)	前期前半終了	24日(木)	市水泳記録会6年生大会
		25日(金)	市水泳記録会5年生大会